

子どもの本とのふれあいの場として - 全面開館した国際子ども図書館

国立国会図書館
国際子ども図書館企画協力課
大塚 晶乙

2002年、東京上野に国立国会図書館国際子ども図書館が全面開館しました。2000年5月に日本で初めての国立の児童書専門図書館として部分開館して以来、約2年間活動を行ってきましたが、ようやく歴史的建造物を保存再生するための改修工事を終え、活動が本格的に始まりました。『直接子どもに奉仕するとともに、子どもに奉仕する人びとに奉仕するという二重の役割』を持ち、子どもの本がもつ魅力を多くの子どもたち、大人の方々に届ける活動を行う国際子ども図書館について紹介いたします。

1. 100年前の建物の再生

国際子ども図書館の建物は、今から約100年前、1906年に建てられた建物を補修、修復し、その保存を主眼として改修工事を行いました。明治期の代表的な洋風建築であるルネッサンス様式を用いた建物の外装、内装に歴史的建造物の面影を残しつつ、平成期の新しい建造物を増築し、新しい機能と空間を併せ持つ図書館になりました。

修復・復元においては、当時の工法そのままに室内を再現した「本のミュージアム」や「第二資料室」、当時アメリカから輸入し設置した鋳物製の手すりを保存した「大階段」、創建時の外壁をそのまま保存しかつ新しくガラスを用いた増築空間を併せ持つ「ラウンジ」。館内各所がさまざまな顔を持っています。

明治期に創建され、昭和4年に一部の増築が施された建物に免震工事を行い、今後100年は維持できる建物となりました。

2. 国際子ども図書館を構成する5つの柱

国際子ども図書館の基本的な役割は次の3点になります。

子どもと本のふれあいの場になること。

子どもの本の資料・情報センターとなること。

国内・海外の各機関と協力・連携し、サービスを行うこと。

これらを実現するために5本の柱を『輪』となるよう全体の活動を構成しています。

(1) 資料・情報

納本制度により収集される児童書を中心に児童書関連資料、専門資料を所蔵し利用者に提供しています。非図書資料も含め全館で約30万点を所蔵しています。

また、これらの資料を検索する「児童書総合目録」は、館内はもとより、国際子ども図書館のホームページを介し、インターネットを通じての検索利用も可能です。全面開館時の収録件数は図書が約 32 万件、逐次刊行物が約 6,300 タイトル。書誌情報には児童書の受賞・選定情報も付加し、専門情報の提供も行っています。

(2) 閲覧サービス

館内外において、閲覧・複写・レファレンスサービスを提供しています。個人への貸出しは行っていません。調査研究のための資料室の利用は満 18 歳以上の方に限られますが、この室以外は利用者の年齢制限はありません。国際子ども図書館が選定し、購入した資料で構成する「子どものへや」「世界を知るへや」では、約 7,000 冊の資料が利用者を待っています。また、職員によるお話会が毎土曜・日曜日「おはなしのへや」で行われ、毎回、子どもたちのきらきらと輝く瞳が部屋中にあふれています。

(3) 電子図書館

デジタルアーカイブには、国際子ども図書館と国内の児童書を所蔵する機関の蔵書で構成する児童書総合目録データベース、児童書のデジタル画像（著作権処理済資料）、その他の専門情報を電子的に蓄積し提供する機能が含まれます。

デジタルミュージアムとは、国際子ども図書館が独自に作成した仮想的な展示プログラムを構築し提供するもので、その一部についてはホームページを通じ、館内だけでなくインターネットで外部へ提供しています。

ホームページは国際子ども図書館の利用案内を提供するだけでなく、児童書にかかる専門情報や国際子ども図書館の到着資料情報を含め、児童書を取りまく国内外のトピックスなども紹介しています。

(4) 様々な機関との連携協力

「児童書総合目録」の参加館である類縁機関や、国際シンポジウムの開催等を通じ、国内外の専門機関と連携協力していきます。すでに行われた「全面開館記念シンポジウム 昔話から物語へ」では韓国やアメリカから専門家を招聘し日本の専門家や国際子ども図書館長と意見交換を行いました。今後も展示会の開催協力や、図書館員同士の交流なども含め、一層その関係を深めていく予定です。

また国内の公共図書館と図書館協力事業の一つとして図書館間貸出業務及びレファレンスサービス等の実際の業務を通して協力関係を強めていきます。

(5) 展示イベント

子どもの本に関する展示や各種イベントを通して子どもの本のもつ魅力を伝えるとともに子どもの本との出会いの場を提供します。現在は古今東西の昔話や物語について「不思議

議の国の仲間たち」と題する展示会を行っています。また、夏休みにはワークショップを行い、科学遊びや絵巻作りに多くの子どもたちが参加しました。

3. 新しくはじまるサービス

子どもの本を通じて子ども達に世界の国々や人々への理解と共感を持ってもらうことを願い、日本全国の学校図書館へ『セット貸出サービス』を11月より開始します。セット貸出の内容は世界の国々や各地域の文化、歴史、生活などについて、調べ物に役立つ資料、その国の代表的な絵本、昔話や物語など約30～40冊程度を1セットで揃えます。

現在「韓国セット」と「北欧セット」を準備中です。それぞれ小学校用と中学校用があります。

貸出期間は約1か月程度とし、送料は片道を負担し合う予定です。

今後、セットの種類を増やし、より充実したサービスにしていきます。このセット貸出しを含め、学校図書館と様々な連携協力を築いていくことは国際子ども図書館の6本目の柱になると考えています。

4. これからの国際子ども図書館

国際子ども図書館の活動の柱である6つの『点』を、1つの『輪』になるように相互につながり、活動を進めていきます。展示会開催のための資料貸出し、関連機関との連携した活動、利用への窓としての電子図書館の展開、そして、情報交換や交流を深めることで新しい出会いの場になるように、その『輪』を拓いていきます。

始動したばかりの国際子ども図書館ですが、『子どもの本は世界をつなぎ、未来を拓く！』という信念に基づき、児童書のナショナルセンター機能を果たしていくことができるよう、御協力をして頂きつつ進んでいきます。

(参 考)

インターネットを通じた主なサービス

国際子ども図書館ホームページ (<http://www.kodomo.go.jp>) から利用できる内容

児童書総合目録	国立国会図書館を含む、日本国内で児童書を所蔵する7つの主要類縁機関の総合目録
新着図書情報	国際子ども図書館の第一資料室および第二資料室に受け入れた資料の情報
絵本ギャラリー	デジタル画像化した絵本の仮想展示会
「絵本は舞台」	19世紀に出版された英国の児童書を音楽やお話とともに楽しめるプログラム
「コドモノクニ」	1920年代の日本の子どもたちを日本の画家たちがどのようなまなざしでみつめていたかを表現したプログラム
世界の子ども世界のことばーいろんなことばで本をよもう！ -	世界各国の言語で書かれた「紙」でできた絵本という素材を、絵、音、文字の3つのデジタルデータで表現しているプログラム